



## 「働くこと」「職業」の話…これからどうなる？

本校には、すでに社会人として働きながら学んでいる生徒がいます。また、アルバイト等と学習の両立を図りながら自分が夢や目標とする活動に打ち込んでいる生徒もいます。もちろん、「まず、高校生活を全うすること」に集中してがんばっている生徒もたくさんいます。

ここで少し「公共」の学習。「労働」＝「働くこと」には、「有償労働」（職業）と「無償労働」（家事や育児、ボランティア等）の2つがあります。また「働くこと」には3つの意義があります。①「経済性」（お金を稼ぐ）②「社会性」（社会的な役割を果たす）③「個人性」（自分の目標をかなえる）

「働くこと」は、単に「生活のために」というだけでなく、「社会へ出て役割を果たす」、「自分の人生を充実させる」ことにつながるのです。

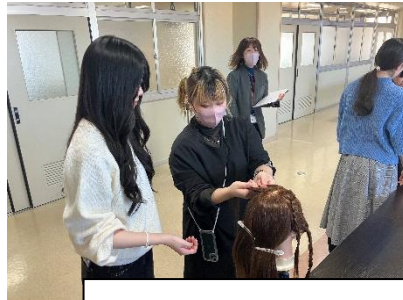
先日ある報道番組で、最近の職業の動向について興味深い話題がありましたので紹介します。いわゆる「ホワイトカラー（事務職や研究職や営業職等、生産を伴わない職業）」と「ブルーカラー（製造・建設・運輸・農林水産等、現場で体を使い技能や労働力を提供する職業）」の話。現在世界中で人手不足が生じているのが「ブルーカラー」の職業で、賃金も以前はホワイトカラー優位でしたが、今は逆転傾向にあるそうです。日本でも、特に「理系」の現場職の人手不足が深刻で、企業はかつて日本が世界に誇った「ものづくり」に携われる人材の確保と育成に力を入れているそうです。

また、AIやロボット技術の飛躍的な進歩に伴って、将来なくなる可能性が高い職業の話題も近年よく取り上げられます。次の表は様々なデータからの抜粋です。

将来なくなる可能性が低い職業	将来なくなる可能性が高い職業
◎医療・介護系の仕事 看護師 救急救命士 歯科衛生士 歯科技工士 介護福祉士 ◎教育関連の仕事 保育士 幼稚園教諭 教師 ◎クリエイティブな仕事 ゲームクリエイター 漫画家 プログラマー 美容師 トリマー ◎人々の生活に欠かせない仕事 地方公務員 警察官 消防士 ◎研究・開発する仕事 研究者 エンジニア	◎一般事務職 経理・会計 データ入力・事務処理 ◎コールオペレーター カスタマーサポート ◎小売業のレジ業務 ◎フロントスタッフ ◎運転手 ◎工場作業員 ◎ライター ◎翻訳家 ◎監視業務 ◎仕分け・物流業務



かつて多くの人がめざした「一般事務職」が将来なくなる可能性が非常に高いことに時代の変遷を感じます。一方で医療や介護、教育などの社会生活を支える職業や何かを創造するクリエイティブな職業は、これからも必要とされています。



R7 職業体験学習から（左：美容・理容 右：調理・製菓）

さて、あなたの夢や目標、将来の職業は？

10年後 20年後、その先の自分のライフプランを見据えて考えてみましょう！